

(様式2)

## 学校関係者評価報告書

愛媛県立内子高等学校小田分校  
学校番号( 33 )

評価実施日	令和4年3月10日(木)		
委員	氏名	所属等	備考
	山本 勝利	内子町役場・元PTA会長	地域住民
	宮内 隆司	自営業・元PTA会長	地域住民
	佐伯 隆生	小田中学校教頭	地域中学校
	岡山 紘明	地域おこし協力隊	学識経験者
	久保永 美紗	内子町役場	地域住民

評価・提言等	提言等に対する改善方策等
<p>1 今年度の最終評価について</p> <p>(1) 学校経営 生徒数確保は本当に感謝したい。数年前からの取組の成果だと思う。今後も継続した情報発信をお願いしたい。 地域の小田分校に対する熱意をすごく感じている。高校が積み重ねているものがあるからこそ地域が支えているのだと思う。</p> <p>(2) 学習指導 中学校の進学に対する考えについて、小田分校での個別指導に魅力を感じている。 一昨年は6名の先生に来ていただき話をさせていただいた。今年度は小中学生を巻き込んだ活動を実施しその効果もあって小田分校に進学したい生徒が出てきたように感じた。</p> <p>(3) 生徒指導 部活動について、同学年でチームを固めて試合をしっかりしたいという考えが強い。合同チームについての抵抗感是小田中学校にはない。 野球部だけ普段一緒に練習しないチームとの合同チームが悪印象なようである。</p> <p>(4) 進路指導 分校であっても進学実績が伸びている学校もある。自宅でのオンライン学習などが実現できれば効果があると思うので充実させていただきたい。 キャリア教育の充実には各学年で職場見学やインターンシップなどに取り組んでいる。外部の方から話を聞くことは生徒にとって新鮮であり進路実現に対する考えも深まった。</p>	<p>県外生と地元の生徒が混在し、多様な生徒がいる状況になるので今までは難しい状況にもなってくる。公営塾のような形や企業が入ってくるのがベストだがそれができないためにオンライン等で学力が多様な生徒に対応する必要があると感じる。進路補償、入ってきた生徒をどう育てるか、今までの方法では通用しないことを感じているのでご意見を伺いながら改善していきたい。</p> <p>習熟度評価についても高い評価であった。今後も個別、習熟度指導を充実させていきたい。 プロジェクト学習を通して、幼稚園・小学校・中学校・高校と連携を図りながら、地域の活性化のために努力を続けていきたい。その結果、小田分校へ興味を持つ生徒を増やしていきたい。</p> <p>バレーボール部では、本校との合同チームになって、現在土日に内子本校からバスで来てもらっている。人数が非常に少なく、チーム成立も分からない。本校も部活動離れが深刻である。 野球部は、高野連のシステムでは9名いれば単独で出なければならないので本校とは組めない。2年2名は能力も向上し、連合チームでリーダーとなる存在になっている。他の学校には得られない経験をアピールしていきたい。</p> <p>生徒が一人一台端末を持っているので教職員がコンテンツを十分に使いこなせるように研修をしたい。 YoutubeやNHKなどの映像資料を活用することで充実を図っていきたい。 生徒の自宅でのWi-Fi環境には問題がないので、家庭学習が充実するように今後も研究していきたい。 多様な進路希望の生徒に対して、キャリア教育を今後さらに充実させていきたい。</p>
<p>2 その他(本校教育全般について)</p> <p>ホームページがリニューアルされ、更新も頻繁で、学校の様子がよく分かる。 寮生に対し、地域や行政と連携しながら、物心両面で支援していただいている。</p>	<p>ホームページについては、情報発信として最もシンプルなものだが、同一人物が作るとワンパターンに偏るので全教職員で分担して対応するようにしている。 地域や行政の支援に感謝している。</p>